

今金町生涯学習情報誌 いまナビ

～学びの“今”をナビゲートする～ 第12号

平成三十一年
三月十五日

発行日：平成 31 年 3 月 15 日
発行：今金町教育委員会
編集：社会教育グループ
〒049-4393
瀬棚郡今金町字今金 48 番地の 1
TEL. 0137-82-3488
FAX. 0137-82-3445

「今金町生涯学習情報誌いまナビ」は毎月の広報紙「広報いまかね」では掲載しきれない教育関係の記事をはじめ、所属団体の活動情報、教育関係委員のコラムを掲載し、町民の皆様に教育関係事業の情報をお知らせするものです。年 4 回、町内全世帯向けに発行しています。どうぞご覧ください。

■新体育館 4 月 13 日にオープン！



今金町民にとって待望の新施設・今金町総合体育館“あいきゅーぶ”が次の日程でオープンします。この機会にぜひご参集ください！

と き：4 月 13 日（土）9:00～ 開館式
と ころ：今金町総合体育館“あいきゅーぶ”



また、開館式では各関係者への感謝状贈呈、愛称“あいきゅーぶ”の提案者へ記念品贈呈等を行う予定です。開館式後は施設内を自由に観覧・使用することができます。

■新しい総合体育館はこう変わります！

①主要な各室はすべて 1 階に！

今までの体育館は武道場、トレーニング室、研修室が 2 階にありましたが、新しい体育館はすべて 1 階にあります。玄関から段差のないフラットなつくりですので、これまで以上に利用しやすくなります。

②ランニングデッキがあります！

競技場（アリーナ）を取り囲む器具庫の上には、ランニングのできる幅の広いデッキがあり、1 周 140 メートルあります。冬場のウォーキングやジョギングも安全にできるようになっています。

③スポーツアドバイザーが常駐し運動指導をします！

専属のスポーツアドバイザーが常駐します。トレーニング室の運動器具の使い方をはじめ、運動指導を担当しますので、お気軽にご相談ください。また、各種運動教室なども企画・発信していく予定です。

Q & A

Q. 利用日・利用時間は変わるのですか？

A. 利用時間は通年で 9 時 00 分から 21 時 00 分までです。これまでは毎週月曜が休館日でしたが、一般開放の利用に限り、月曜日も開館します。祝日の翌日も開館しています。

Q. 今の体育館はいつまで使えるのですか？

A. 4 月 7 日（日）まではこれまで通り使用できます。8 日（月）～12 日（金）までの 4 日間は新体育館への移転準備のため臨時休館といたします。ご迷惑をおかけしますがご理解をお願いします。

今後の主な行事		会場
4 月 13 日（土）	スポーツ少年団体カテスト会・結団式	新総合体育館
5 月 1 日（土）	子ども読書の日イベント（図書室おはなし会／イマカレ）	町民センター
5 月 1 9 日（日）	今金オリエンテーション（町教委主催）	町内一円

※詳細はチラシ等で随時お知らせいたします。日程等変更になる場合があります。

■ 読書と作文のまちプロジェクトチームについて

平成24年度より読書と作文のまちワーキングチームを発足し、学校・家庭・地域・行政の連携のもと、子どもの豊かな想像力や、課題に対して粘り強く取り組む姿勢を育み、規則正しい生活習慣の定着や学力向上を目的に推進してきました。もとをたどると「学力向上対策として家庭教育の中で何かできないか？」と議論されており、「家庭で勉強を教えるのは難しいが子どもと一緒に読むこと・書くことはできる」との明快な意見があり取り組みが始まりました。

「読書と作文」と聞くと読書感想文のイメージを持ってしまいますが、「読書（インプット）」は本を読むことだけではなく、芸術鑑賞や体験活動などの見ることや体験することも読書として捉え、「作文（アウトプット）」は字を書くことだけではなく、感じたことを作品として作成したり、行動したりすることも作文として捉え、視野を広げて活動を展開してきました。実践してきた例を挙げると、写真家の講師を招聘し、デジタルカメラで写真絵本作りの開催や、図書のポイント制度「としよぼ」の導入、

大人向けのお話会など活動の中の議論から生み出されたものです。

そしてこれまでの経過をふまえ、今年度よりワーキングチームからより発展的に活動するため、プロジェクトチームとして組織し、取り組みを推進するための課題の整理や生涯学習等の充実した学びの機会を提供するため議論を深めています。

議論を深めるためにも通常の会議形式にはとらわれず、学校・家庭・地域・行政のメンバーでのグループワークを行い、積極的に意見交換できる環境をつくるなど工夫しながら進めています。

今後においても、プロジェクトチームが中心となり、今金町での「読書と作文」の充実を図り、たくさんの学びの機会を提供していきたいと思えます。（白岩）



▲2月5日に行われた会議の様子

■ 「デジタルカメラで写真絵本づくり」が行われました

1月27日（日）に今金小学校PTA研修部主催事業「デジタルカメラで写真絵本づくり」が今金小学校で行われました。

この事業は、デジタルカメラで撮った写真を使って世界で1つだけの写真絵本づくりに挑戦し、ふるさを見つめる「眼」を培い、親子や子ども達、地域の交流を深める機会を目的とし、芽室町在住の写真家の小寺卓矢^{こでらたくや}さんを講師に迎えて実施しました。

今回で10回目を迎えるこの事業ですが、今回は「いまかねの冬のくらし」をテーマに、参加者16名が町内で自由に写真撮影を行いました。

写真撮影後はいよいよ絵本づくりです。それぞれが見て感じたことを文章にし、読み手に伝わるように悩みながら1冊の本を作りあげました。

絵本完成後は発表会を行い、一般参加者1名と小寺先生が、作った写真絵本の読み聞かせを行いました。他の参加者はそれぞれの発表を興味深そうに聞いていました。

完成した作品は1週間ほど今金小学校で展示され、多くの児童が手に取り楽しんでいました。

今後も継続的に実施していきたいと思えますので、ぜひご参加ください。（樋口）



▲写真絵本作りの様子



▲参加者と小寺先生とで記念写真



▲小学生が作品を楽しんでいる様子

コラム 触れ合う喜び

教育委員会 ^{ふな}船 ^き木 ^{めぐみ}恵 委員



平成 31 年 1 月 11 日、本町において実施された檜山教育講演会に参加の機会をいただきました。「生命（いのち）のメッセージ」と題されたその講演は、話し手である仲律子先生（鈴鹿大学教授）の淡々とした語りの中で理不尽に命を奪われた人たちが等身大となり、その真実から私たちに生きる事の大切さを感じさせてくれるものでした。

後日、先生から一冊の本が送られてきました。「悲しみを生きる力に～被害者遺族からあなたへ～」というジュニア向けの新書です。



著者の入江杏さんは、2000 年の大晦日に起きた未解決の「世田谷一家殺害事件」で大切な妹さん家族を奪われた方です。この著書に込められた想いは、決して悲しみに暮れるものではなく、また恨みを吐露するだけのものでもありません。

悲しみとは何か、生きる意味とは何か、たくさんの想いの中から生まれる愛に満ちた尊い心を知る本でした。また、この本の中には著者を支えた何冊かの本の紹介もあり、その本たちに触れ合うチャンスもいただきました。（下部参照）

貴重なお話をしてくださった仲先生に感謝をし、命の大切さを思い、子どもたちが豊かに生きていける柔軟な心の成長を祈っています。また人生を振り返った時、ああ～いい人生だった、と言える強さを日々の暮らしの中に持ち続けたいと願っています。

もうすぐ、力を蓄えた冬が去り、希望に満ちた春がやってきますね。

●作中で紹介された本●

「しあわせの3つのおしえ」

エマ・チチェスター・クラーク 著

「スーホの白い馬」

おおかづゆうぞう
大塚勇三 再話

「飛ぶ教室」

エーリッヒ・ケストナー 著

「びくびくビリー」

アンソニー・ブラウン 著

「銀河鉄道の夜」

みやざわけんじ
宮沢賢治 著

■いまかねひなまつりが開催されました

3月3日、桃の節句の日に関金町民センターにて、女連協主催「いまかねひなまつり」が行われました。今回は町内で活動している各女性団体にご協力いただき、例年の「女性文化祭」とは異なった内容で開催しました。

午前は三色団子作り体験やお米銘柄当てゲーム、JA今金町女性部によるお茶の提供や、商工会女性部、ワークショップいまかねによる食品バザーがあり、来場者は体験や食事を楽しんでいました。会場には大きな七段のひな人形や桃の花を

飾りつけ、華やかな雰囲気の中でわたあめやポップコーンを楽しむ姿も見られました。

午後の発表交流会では、大型紙芝居サークルじやがいもの花による大型紙芝居や、今金第2老人クラブ、大和町ふれあい踊りの会による踊りが披露されました。最後には琴鈴会の大正琴の演奏に合わせ、「うれしいひなまつり」を会場全体で合唱し、盛会のうちに終了しました。

今回は子どもから大人まで、たくさんの町民の皆様にご来場いただきました。今後も町の女性が

手をつなぎ、だれもが楽しめる事業として続けていきたいと思っております。今回ご協力いただきました各団体の皆様、ありがとうございました！（齋藤）

▶ロビーに展示されたひな人形



▶琴鈴会の演奏



社会教育委員だより 〈社教委員のつぶやき〉

社会教育委員によるコラムリレーを掲載しています!

〈今金町社会教育委員会〉

委員長	天沼 寧	副委員長	山崎 周一
委員	業天 誉久	委員	松原 真一
委員	刈屋 滋子	委員	久ヶ澤サユミ
委員	池田 誓哉	委員	村瀬 一人

ガチパラに参加して

委員長 ^{あま}天 ^{ぬま}沼 ^{やすし}寧 (農業)



3月に入り、もの凄いスピードで春が近づいております。例年になく雪解けが早いのは、やはり地球温暖化の影響なのでしょう。我が家の周りからは、すでに福寿草の黄色い花が見え、ふきのとうの芽が顔を覗かせております。

さて、私は過日2月3日に行われた「ガチパラ vol.10 in 今金」という事業に実行委員として参加しました。パラスポーツ(身体に障害を持つ人のスポーツ)を通じて子供から大人まで体験や観戦をし、貴重な時を過ごすことが出来ました。またこの事業は、町民の皆様が長年愛用してきた総合体育館の閉館記念事業のひとつとして開催されました。

パラスポーツのウィルチェアーラグビーは選手同士が激しくぶつかり、転倒し、選手は自力で起き上がることが困難なので、それを助けるスタッフがいました。観戦している私たちは、驚きや新たな発見など、心に熱く感じるものがありました。感動です。パラリンピック代表の池崎大輔選手いけさまだいすけの車椅子は、チタン製、外国からの輸入品で、約180~200万円の値段がすると教えて頂きました。さらに、約1年使い続けると壊れてしまうことも聞き、さらに驚かされました。2020年に開催される、東京オリンピック・パラリンピックが待ち遠しく思えた一日でした。遠方から来られた選手の皆様に感謝です。



▲シッティングバレーの体験



▲プロの選手によるウィルチェアーラグビー

自分らしい活動を

委員 ^{くがさわ}久ヶ澤 サユミ (自営業)



今年度より社会教育委員となりました、久ヶ澤と申します。委員としてはまだ日も浅く、初めてのことで戸惑いもありますが日頃より社会教育に携わる皆さんと一緒に活動させて頂くことは、大変意義のある経験だと感じています。

私たちの年代になると、孫の子守り程度でしか子どもたちと触れ合う機会もありませんが、子どもたちの天真爛漫な笑顔には、いつも元気をもらっています。

私が所属する商工会女性部では、毎年5月第3日曜日に開催している「春らんまん花いっぱい」で、ボランティアの皆さんのご協力もあり、絵本の読み聞かせなどの子どもたちが気軽に本と触れ合える、様々な企画を行っています。他にも、管外視察や研修会を通して学び、個々の見聞を広げ、地域のお手伝い出来る活動に取り組んでいます。

皆さんと協力し合いながら、私にもできる活動をしていきたいと思っていますので、どうぞよろしくお願いいたします。



▲イベントでの読み聞かせの様子